

第2回大分県道州制研究会の概要

◆ 研究会の今後の進め方について

- 研究テーマを幅広くし、地域主権下における大分県の目指す姿や受け皿としての基礎自治体を越える広域自治体の色々な形（例：道州制、広域連合など）などについて議論していく。
- 当初案に沿って意見交換会を実施していく。
- 「大分県道州制研究会」の名称を検討する。
 - ※ 座長一任
- 研究会委員に放送局を加えることを検討する。
 - ※ 座長一任

◆ 委員意見

●研究会の今後の進め方について

<議論の方向>

- まず、現状から出発し、色々なテーマに沿って、各県が連携し、うまくいく努力を積み上げるべきであり、連携をやってみて、不都合なこと、課題を抽出し、次のステージで道州制などを考えるということではないか。
- 大分県としてはこうありたいと言えるものを持っておくための研究会として、今後も進めていくと良いのではないか。
- 道州制論議の前に、地方がどういう姿が一番理想なのかということを確認すべき。
- 県民の色々な幅広い意見を聞き、どういう状況になっても、どういう行政組織になろうと、中央政権がどうなろうと、地方が生きていくための考えをまとめておくことは必要である。
- 大分県としてどんな行政の仕組みだったら県民の皆さんが暮らしやすくなるのか、県民の暮らしが充実するのか、向上するのかなどについて話し合ってみてはどうか。
- 意見交換会では、ただ聞いたり、道州制のことを教えるということではなくて、市民の立場での枠組みがどうであるというような話が聞けたら良いのではないか。
- 今までと違う自治のあり方、住民参加のあり方を模索するような、意見を言い合うような会にしないといけない。
- 色々な意見を聞く、そしてそのことに対して住民の方も責任を持つというような形の意見交換会にしてもらいたい。
- 今、厳しい地域で何が問題かを本当に掴むことは、これからの将来の日本や地域を考える上で、非常に重要である。
- 議論をする前に相手に現状の情報を十分知っていただいて議論をしないと、一方的な議論になってしまう可能性がある。
- 目指す姿については、県行政組織のままで、九州全体で取り組めるもの、それからア

アジアに対抗できるものはないのかということから手がけるべきである。

- 九州は一つということを考える場合に、県ごとの境界ではなく、それぞれの産業圏、生活圏というものが主になって、実際の物流等が行われていることから、産業圏や物流圏を中心に行われているエリアを中心に色々な連携をやっていくことができないのかを考えるべきである。
- 第一次産業のメインとなっているエリアはどうか、製造業がリードしているエリア、商業集積が中心となっているエリア、そういうものがミックスになってバランスがとれているエリアなど、そういう諸々のエリアが調和して発展していくためには、どういう地方であるべきかということ協議し、本当に九州が連携を保っていけるようになれば、中央の活性化に繋がっていくのではないかと。
- 道州制が国の方針として決まったと仮説を立てて、その場合どうかということ、あらゆるセクターから問題点を摘出してもらうということをやれば、意見はかなり方向性を持った議論になるのではないかと。
- 新政権が何を打ちだそうと道州制の勉強を続けたらどうか。

<研究会の名称>

- 道州制研究会という看板をかけ直して、例えば地域主権研究会と名前を変えてはどうか。
- 当初どおり意見交換会を実施する。ただし、研究会の名称は考えるべきではないかと。
- 研究会の名称に道州制という名前は入れておいた方がよいのではないかと。

●道州制研究会の委員について

- 放送局は、道州制になった場合も非常に影響を受けやすい、話題の中心になっているという非常に重要なところであるので、委員に加えていただきたい。
※委員構成も含めて座長一任

●その他の意見

- 大分県の道州制研究会は、経済界のメンバーが突出しており、経済界の視点だけで、県民の皆さんの視点が欠落した論議のまとめになるおそれがあるのではないかと。
- 簡単に九州、九州という言葉を使うと、外部から九州はまとまっているのではないかと誤解を受けるので、重要な時には、九州各県と九州の後に各県を付けていただきたい。
- 九州全体で取り組んでいる分野として代表的なものは観光分野であり、今も九州観光推進機構が進められているが、引き続き県境を越えてやっていくべきである。
- 地方の目指す姿を考える前に、インフラの整備は基本的な条件である。
- 一般市民が毎日生活する時に、これからも仕事が楽しく、学校が楽しくなることで、最終的に日本の力になっていくというような社会になれば良い。
- 固有の文化は100年ぐらいでなくならないということを前提とすると、文化面や知性面から考えていくスタンスというのは、大切なのではないかと。
- 県立短大の学生は、非常に前向きであり、意見も持っている。